

発行責任者

酒井 保

〒千葉県船橋市小室町3166  
TEL 047-490-6500



平成十五年度  
関東浪速工業会会長ご挨拶



〔A28〕 酒井 保

今年度の会長を白羊翁の橋本会長より引き継いで早や6ヶ月が経過しました。当会の運営も平成十二年度の石垣会長の発案、各料の幹事が常に会の運営に取り組み、各部門を各料が担当して、円滑に推移しております。この間も会員諸氏の協力の賜物と感謝しております。

この会は会員相互の親睦を図ることが目的であります。これまでの実績を土台として、発展的に継続することに意義があると思えます。

毎年提起されている事の一つに当会の運営をより円滑化するために一人でも多くの会費納入者を増やす事があげられます。会費を払う事のメリットを感じられるように幹事の皆様と共に知恵をまわりたいと思っております。

この会には毎年あたりらしい会員が生まれている事は事実です。本部の協力を得ます新卒業生の状況を把握し、会の諸行事の情報を伝達して行きたいと思っております。

現行の定例行事は十一月の総会に始まり、春の一泊懇親旅行、春秋のゴルフコンペ、夏の見学会、俳優・金田龍之介の観劇会、桂米六の落語鑑賞会、年2回のM-ニュース発行、定期的な幹事会の開催等ですが、この他にも各料主催の懇親会、陶芸教室などがあります。しかし昨今の社会情勢から新会員は同窓会には目を向ける事は少ないと思われ、とりあえず会の存在を知ってもらえるように、多少時間がかかると思いますが根気よく取り組みたいと思

います。幸いにして幹事会もこの2年で新しいメンバーが加わり若返りの傾向にあると、また最近では事務局及び諸行事の幹事からの連絡にEメールも活用されて、情報の伝達方法を徐々に変わってきています。これからの傾向が進むと思われ、ますので皆様の御協力を御願いたします。

この会は会員皆様の会です。この質問、ご提案、お問い合わせ等は遠慮なく事務局(E36 馬江 治喜さん)までお申し出下さい。今後とも各員の皆様の理解とご指導を賜り、諸行事に積極的にご参加いただきますよう、御願申し上げます。

一泊懇親会に参加して

〔C14〕 菅家 亘通



平成十五年四月十一日(金)二十一日(土)今月初めて一泊懇親会に参加しました。行き先は茨城県北部の五浦温泉で、幹事より案内を頂き、会社を途中抜け出したの現地集合でした。最寄りの大津港駅から、何となく大先輩方の集う気配に久しぶりの緊張した旅行になりそうなる感……

工業化学科よりの参加は私人だったので、建築科の先輩と同室させていたとき、定年後のトバイスや

年金問題、近所付き合い、果てはトランプ、パズル等で錆び掛けた頭を働かせて頂きました。

宴会の方は、改めて新田会長のパトランプ、参加者全員の自己紹介と、在校中応援歌、懐いた自慢のノドを充分(?)披露して、さて最後に校歌かと思いきや、都合三世代に渡り変化があったため、共通の校歌が歌えないという、これまた歴史を感じさせる成り行きに初参加の者としては大いに驚き又納得したものでした。

後日調べてみますと  
大正十五年以降  
昭和十六年以降  
昭和十七年以降  
昭和二十七年以降

淀の川面に花影うつりて、これを三グループにて歌わなければなりません。そこで大阪市の市歌と、「同期の桜」がトリをとりました。

翌日は岡倉天心を記念した隣接の五浦美術館を閲覧し、更に完璧な雨予報に打ち勝った晴親父たちの希望が叶い、E36卒の石垣氏のご案内で元勤務されていた、KDDI茨城衛星通信所の施設見学と桜の花見まで堪能して解散と相成りました。

温泉も良かったし、二次会でのC科9年卒・西谷大先輩が出演された「NHKのど自慢」のビデオを見ながら出演の裏話等も良かったです。次回も大勢の参加がありま

すように、又今回お世話になった先輩に対し感謝いたします。

草原の国モンゴルの  
電気通信事情

〔E36〕 石垣 英明

モンゴル地方の電気通信の発達は非常に遅れています。首都ウランバートルは携帯電話もインターネットも普及しているのに、地方に行くといまだに磁石式の電話機が使われ手動交換が主流です。県都と農牧民の集落を結ぶ電話方式は、八〇年代旧ソ連の統治下時代に建設された鉄

とかアルミ線による架空裸線搬送システムで、延々と三万キロ近くも草原、砂漠の中を裸線がはりめぐらされています。このような方式で何キロも離れた都市との電話ができるのが不思議でたまりませんでした。国土が日本

の4倍もあるのに人口が二百四十万人で、人口密度が世界で最も希薄な国です。農牧民の集落が何百キロも離れて点在し、集落と集落が線で結ばない地方の電気通信システムを整備するため、目標年次を二十二年とする地方電気通信開発マスタープラン策定の仕事に昨年、一年間従事しました。地方の社会開発の現地踏査のため、三度訪問し、通算七月近く現地調査し、地方の現状を知るため、ランドクルーズで述べ5千キロを走行してきました。

モンゴル国はシベリア近くの大陸国で、標高が千二百メートルもあるため、冬季はマイナス三十度を超える極寒の地で、雪害で毎年何万頭も家畜が死ぬとい

た自然、生活環境が厳しい国です。モンゴル人の風俗は日本人によく似ています。日本の木曾地方に放牧される小形な馬はモンゴル馬の系統といわれます。ア

酒はアルコール度も日本酒に近く少し暖めて飲みます。草原が広い、砂漠が広がっている、地平線がはてしなく見えるなど自然の景観が日本と大きく違っています。羊・ヤギ・牛・馬・ラクダの五畜を基本形態とする遊牧民の世帯が、全体の三分の一を占め、日本とは、社会の根底的な組み立てが異なる国ですが、一度訪れると、親しみが湧き、また行きたくなる国です。



花吹雪

〔M18〕 小川 玉泉



行き止まる袖道理め花大根散りしける花よりも沼匂ひけり  
駐輪の持棋倒しや花吹雪  
魚影透く運河や岸の花は蓮だ  
鶯のほかにほろかなす大薬屋  
巢燕やひと筋路を違へしか  
蒼天を指ささるはなし松の芯

〔A27〕田中 瑛也



パギー・寝釈迦

東南アジアの西端に位置するミャンマーは、上座部仏教(南方仏教)を信仰する。

季候は一年を雨期(五月中旬～十月上旬)乾期(十月中旬～三月上旬)暑期(三月中旬～五月上旬)に分かれ、多くのこの国を訪れる観光客は、乾期に集中する。

上座部仏教は、唯一釈迦を信仰し、御本尊とする一神宗教の色合を感じさせる。従って、祭られる像は、脇持を従えていないことで、特徴付けられる。

わが国には、古代、インドより中国、朝鮮を経た北伝仏教ルート、中国から海上を通じて伝来した南伝仏教ルートとがあるが、そのいずれもが、ごく僅かな例外を除いて三尊像である。例えば釈迦三尊像として、釈迦を中心に左に文殊菩薩、右に普賢菩薩、阿彌陀三尊像としては、阿彌陀を中心にして、左に勢至菩薩、右に観音菩薩と並ぶ。

遠くトルコのアンカラの博物館で、対面をしたミダス三尊像の形姿に、わが国仏教にユラシア諸民族の文化の流れを見る。このスタイルは、シルクロードを通じて中国に入り、インドから北上した仏教と融合して定着したのである。

ところで、ミャンマーでは、釈迦像はバガン、パギー、ヤンゴン等、各地の寺院で対面を果す事が出来るが、極彩色に彫像が塗り上げられ、常日頃、日本の寺院で拝顔する仏とは、いささか趣を異にした印象を受ける。

とりわけ、首都ヤンゴンの北800百にあるパギー、シエモード・パゴダに安置されている釈迦像には、その大きさに圧倒される。高さ16m、耳の大きさ4.5m、眼1.2m、口2.3m、まっげ2.3m、足のうらの長さ7.7m、寝姿のくつろいだ釈迦像、仏の枕は、ぎらぎらと輝くガラス、モザイクで表面が作られ、釈迦の安置された室内空間をひききたてる。

この釈迦像は、994年、モン族のミガディバ王により、建立されたが、王朝滅亡後、密林の土中に眠っていたが、19世紀、イギリスの統治下、鉄道施設のために密林を切り拓いた際に、鉄道技師が発見したといわれ、像は風化せずに原型を保っているといわれる。釈迦像は、ヤンゴンのチャウンダツジ・パゴダ、隣国タイのワットポーでも見られるが、この寝釈迦が最大の大きさ、この仏の安置されている建物は、鉄骨造、トタン屋根の簡素なたたずまいが、より寝釈迦の荘厳さを引き出す。

付言ではあるが、パギーの町から少し離れたチャイブーンに立つ30mの釈迦四面の座像は、各面の仏が四季の着装で光彩を放つ。パギーの町は、小高い丘に建つシェエモード・パゴダを中核として成り立っている。このパゴダは高さ144mの黄金色の塔、この大塔を中心に回廊があり、四方に祈願所回廊のまわりに大小多くのお堂がある。

パゴダと呼ばれる建造物は、宝塔とも仏塔とも訳されている。宝塔とは、三宝玉に帰依するとの意で、

仏に帰依する、法(真理)に帰依する、僧に帰依するとの三帰依文に由来する。素材はミャンマーの人々は、仏に謙虚な祈りを捧げる。その姿に、日常おかれていた市場原理主義の世界の対局にある世界を見る。ミャンマーの小さな町パギーをはじめとして、世界遺産バガン遺蹟、首都ヤンゴンのパゴダ等、数限りない南方仏教の威風を示す建物が遺されている。その中で、小さな町で、大きな仏に出会った感激を持ってこの文を綴った。



チャイブーン・釈迦座像

ゴルフコンペ報告  
〔E36〕竹村 繁幸

平成十五年四月二十五日に第十六回の関東浪速工業会ゴルフコンペが紫カントリークラブ・あやめコースにて開催されました。当初十一名でエントリーしていましたが、怪我・病氣などで欠席者が相次ぎ、開催が危ぶまれましたが、七名での少人数ながら楽しいゴルフ会となりました。今回の優勝者は、今までも上位の成績を残しておられたC.I.34柴田氏が初優勝されました。次回は本年十月に予定しています。

見学会の御案内  
毎年恒例の見学会は次のように実施します。ビールでできるまじを見学して、最後においしい出来立てのビールを試飲しませんか。なお、お子様はジュースを試飲して頂きます。

見学先 アサヒビール茨城工場  
開催日 平成15年7月26日(土曜日)  
集合場所 関東鉄道常総線  
「南守谷駅」改札口  
「関東鉄道常総線」取手駅にて  
集合時間 13時30分  
申込方法 参加希望者は、氏名科卒年、同伴者有無をTEL、FAX又はE-mailにて左記宛申し込ください。  
申込先 事務局 馬江 治喜  
TEL/FAX 045-841-8885  
E-mail uma2@3.dion.ne.jp  
申込締切日 7月15日  
見学料 無料。交通費各自負担。  
「家族」同伴者の参加も大歓迎！  
★モデルコース  
上野駅12時10分発・取手駅12時50分着(乗換) 取手駅13時08分発・南守谷駅13時23分着

陶芸会への誘い  
関東青瓷会建築科では過去3度にわたる陶芸教室を開催してきました。陶芸家として活躍されている建築科46年卒、榎木氏の指導のもと氏の工房で陶芸の世界を満喫してきました。今年も他科の皆さんからも希望者を募らせていただく事としました。

開催日時 10月4日(土)13時より17時30分 終了後懇親会開催  
開催場所 国立市国立自由工房  
会費 6000円(懇親会費含む)  
定員 22名(定員になり次第締切)  
申込締切 7月20日  
申込方法 卒科年氏名をA37枚表信送、FAX又はE-mailにて  
FAX 04-7184-8443  
E-mail 3tree-yoshi@jcom.home.ne.jp  
(集合場所等詳細は申し込み表裏の方(後日)案内します)

観劇会の御案内  
恒例により金田龍之介氏(M21)のお芝居を見る会を計画しました。多数の参加をお待ちいたします。

演題 新・乾いて候  
そなたもおなじ野の花か  
出演者 主演 田村正和 出演 金田龍之介 北村和夫 平泉成也  
観劇日 平成15年7月6日(日曜日)  
場所 新橋演舞場(十一時開演)  
参加費 八千四百円(一等席)  
募集枚数 限定10枚(先着順)  
申込方法 参加希望者は、TEL、FAXにて下記世話人迄申し込んで下さい。入場券は申込者に郵送します。代金は券受け取り後に世話人まで送金ください。  
申込先 世話人 秋月 勝美  
TEL/FAX 049-266-6231  
携帯TEL 090-2477-9846  
申込締切日 6月20日

桂米左の会 速報予告  
現在大阪で活躍中の落語家・桂米左氏(A59)の東京公演の日程が決定しましたので、速報を案内します。  
開催日 平成15年11月28日(日曜日)  
開催場所 お江戸 日本橋亭  
詳細は案内募集要項及びM21にて掲載させて頂きます。

彩児会 陶青の  
申込方法 卒科年氏名をA37枚表信送、FAX又はE-mailにて  
FAX 04-7184-8443  
E-mail 3tree-yoshi@jcom.home.ne.jp  
(集合場所等詳細は申し込み表裏の方(後日)案内します)

訃報

A 8卒 仁木 謙治氏  
平成13年11月20日ご逝去  
M25卒 真柴 一雄氏  
年月不明 逝去  
ご冥福をお祈り申し上げます。

平成15年度関東浪速工業会 各科代表幹事のご紹介

機械科	M34	石川 芳夫
建築科	A57	信原 信行
土木科	C33	松本 信行
電気科	E36	馬江 治喜
工業化学	C134	柴田 孝次

事務局長よりお知らせ  
関東在住者の住所録がパソコンにて管理出来る様になりました。従って関東在住者で同僚の同窓会を開催したいが誰かいるか知れない、又住所が不明のため連絡できないといった事があれば、事務局へ連絡したければ情報を案内させていただきます。但し、個人情報保護のため、卒科卒年、御氏名、お電話番号を必ずご連絡頂き事務局での確認をしてから、郵便、又はE-mailにて案内させていただきます。従ってお時間をしばらくいただきますのでご理解願います。  
申込先 事務局 馬江 治喜(E36)  
TEL/FAX 045-841-8885  
E-mail uma2@3.dion.ne.jp